

■ ショックアブソーバ伸び率についての注意



落下テスト終了後の墜落制止用器具の規格

落下させたとき、重さいを保持し、衝撃荷重及びショックアブソーバの伸びは、それぞれに規定する基準を満たさなければならない。
また、落下試験において落下体が制止される前に、衝撃吸収機能が失われてはならない。

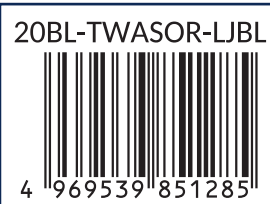
第二種 フルハーネス型	第一種 フルハーネス型	B種 胴ベルト型
最大値 3.91kN	最大値 3.45kN	最大値 3.61kN
平均値 3.18kN	平均値 3.00kN	平均値 3.04kN
伸び 1675mm	伸び 1060mm	伸び 710mm



Wランヤード ダブル オレンジ
ショックアブソーバ付ランヤード

Japanese Quality by Tsubaki

商品コード 20BL-TWASOR-LJBL



「墜落制止用器具の規格」適合品
【第二種・タイプ2(6.0kN)】フルハーネス型 適合品
【第一種・タイプ1(4.0kN)】フルハーネス型 適合品
【B種(4.0kN)】胴ベルト型 適合品
EN 355:2002 規格【エネルギーアブソーバ付ランヤード】適合品

取扱説明書

本製品を使用する前に必ず
取扱説明書をご覧ください

使用可能質量
(体重+装備)
100 kg

■各パーツの正しい名称及び装着



◇ランヤード長：通常 約 1050mm ◇最大伸張：約 1580mm ◇重量：約 980 g

1本で3役こなす！
「墜落制止用器具の規格」適合品
第二種(タイプ2)・第一種(タイプ1)・B種の3種類に適合！

	最大自由落下距離	落下距離	使用可能質量
第二種(タイプ2)	4.0m	5.75m	100 kg
第一種(タイプ1)	2.2m	4.9m	100 kg
第B種	1.8m	3.95m	100 kg

※墜落制止用器具の使用可能質量は、
着用者の体重およびその装備品の
質量の合計100kg以下とする。

※第二種(タイプ2)ショックアブソーバは最大自由落下距離 4.0mで落下を制止した時の衝撃荷重が 6.0 kN 以内で
ショックアブソーバの伸びが 1.75m 以下。
※第一種(タイプ1)ショックアブソーバは最大自由落下距離 2.2mで落下を制止した時の衝撃荷重が 4.0 kN 以内で
ショックアブソーバの伸びが 1.2m 以下。
※B種ショックアブソーバは最大自由落下距離 1.8mで落下を制止した時の衝撃荷重が 4.0kN 以内でショックアブソーバの
伸びが 1.2m 以下。
本製品は第二種(タイプ2)・第一種(タイプ1)・B種 および EN355:2002 に適合しており、作業現場にこだわらず使用できます。

※フック部に曲げ荷重や外れ止装着に外力を加えないよう作業環境を理解した上でご使用ください。
※ 取扱説明書の内容を充分ご理解の上安全にご使用ください。

■ランヤード 使用上の注意

透明カバーは切らないでください！！

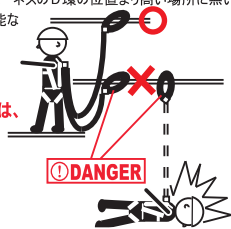


透明保護カバーを破いたり、切ったり、絶対にしないでください。
また使用にあたり破けたり、切れてしまった（特にショックアブソーバ部）場合はただちに使用を禁止してください。
※本取扱説明書の点検リストを熟読ください。

■使用方法と使用上の注意

- B種胴ベルト型はフックの取り付け位置を腰より上の位置で使用する。
- ランヤードのフルハーネス側小フックをフルハーネスのD環に確実に取り付け、もう一端の大フックを堅固な構造物に掛けて使用する。
- ランヤードをフルハーネスのD環に取り付ける際は、フルハーネス装着前に取り付ける。
- ランヤードをフルハーネスに取り付けた状態で、大フックを使用しない場合は、休止大フック掛けに掛けておく。
- ランヤードは脇に挟まないようにする。
- ブロックリール等の墜落防止装置と併用する場合は、それらのフックをD環もしくは丸リングに直接掛けて作業及び移動を行う。
- ランヤードが振子になったり、すべるような所へはフックを掛けない。又、垂直・水平親綱の1スパンを利用する作業者は1名とする。
- フックは墜落制止時にフック本体がねじれて変形したり、安全装置外れ止め装置に荷重がかかったりしないように、正しい方法で構造物に掛ける。
- フックを掛ける位置は、D環より上のできるだけ高い位置で墜落制止時に構造物等に激突する恐れのない箇所とする。
- タイプ2に限り、フックの掛ける位置がフルハーネスのD環の位置より高い場所に無い場合、床面にフックを掛け使用できるが、可能な限り高い位置にフックを掛けること。

※墜落制止用器具の使用可能質量は、
着用者の体重およびその装備品の
質量の合計100kg以下とする。



※ 取扱説明書の内容を充分ご理解の上安全にご使用ください。

■保守と保管

- ベルト・ランヤードに塗料等がついた場合は、乾いた布でふき取り、溶剤は使用してはならない。
- 金属類の可動部は定期的な注油する。砂・土・水等が付着した場合は布等で拭き取り可動部に注油する。
- 風通しがよく、湿気の少ない所、直射日光が当たらない所に保管する。
- 子供が遊びに使用したり、動物が製品に損傷を与えないよう注意する。
- 新品のままでも使用せず長期保管する場合は、必ず箱又は袋などに入れた状態で、気をつけて保管する。

■交換時期と目安

- 使用条件にも異なるが、フルハーネスは使用より2年、ランヤードは1年から2年を目安に新品と取り換える。
- 使用期間内であっても点検リストの内容に従って点検を必ず実施し、廃棄基準に達したものは使用しないで新品に取り換える。
- 使用開始ラベルに使用を開始した年月を必ず記入する。

■使用前点検

- 毎回使用前に必ず取扱説明書をよく読み、正しい使用方法を確認する。
- 毎回使用前に必ず、「点検・廃棄」の内容に従ってフルハーネス・ランヤードの各部点検を行う。
- 新しい製品を使用する前には、フルハーネスベルト裏の使用開始ラベルに、使用を開始した年月を必ず記入。

■主な仕様

大フック	アルミニウム 7075
小フック	スチール製
スイベル	スチール製 (ピン部分 ステンレス製)
ショックアブソーバ	幅 35 mm ポリエステル
ランヤード部分	高強度ポリエチレン繊維
重量	約 980 g